

經 済

第 六 號



大阪經濟大学同窓会

目次

あいさつ	昭和学園 理事長	西野入愛一	二
同窓生の活躍發展を祈る		管野和太郎	三
澱江新年号に寄せて	同窓会 理事長	渡邊達好	四
總務部より		世良鍊次	五
民謡詩		中村武雄	
字治			五
山の嫁入			一〇
お咲			一三
薔切り			一六
編輯部より		眞澄	六
同窓會機構			七

會則の制定			七
會計報告			九
學舍増築及び補修			九
挨拶		佐藤和夫	一〇
各部活動狀況			一一
漫筆		西野入愛一	一四
支部便り			一五
神話の流行		藤原光治郎	一七
就職一年生の辯		川野群平	二〇
お手持の名簿を御訂正願います		編輯部	二一
第二十回卒業生			二七
編輯後記			三三



あ　　る　　つ

昭和学園理事長 西野入愛一

同窓生諸君！

多数の同窓生が好機を得て相會し、親睦をあつうし、世の進運に寄與し、あわせて本學のため氣を吐こうと企圖しておられることはまことに欣快に存じます。

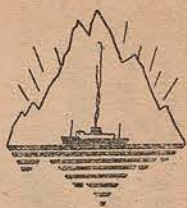
本學は昇格後間もなく、敬愛の的であつた黒正學長を失つてから一時ピンチにおちいつたこともありましたが、學内外諸賢の努力と後援によりまして、今では他私學から羨望されるまでに明朗な發展を遂げました、御同慶に存する次第であります。

専任教師は三十名を算じ、學生の數は第一、第二兩學部を通じ、二千五百に近く、創立以來荒廢に委されていた校舎の修理は完了し、他の學内施設も充實に向い好步調で進んでおります更に昨年度は六百万円の借款と手持資金をもつて鐵筋コンクリート三階建延百五十坪の校舎を増築し、九月からその二層を圖書館として使用いたしております。この狀況を地下の故黒正學

長に報告出來ますことは諸君とともによろこびにたえないところでございます。

さて同窓生諸君の活躍狀況を見ますと、その數は四千に近く、社會の各層に亘つて分布され、得意の頑張りで活躍をいたしております、年々開かれる總會もいよいよ盛となり、昨年の二百名は、今年四百名となりました。來年、再來年とこんな調子でますます盛んになることを希望しかつ祈るものであります支部の復興、新設も行われております。大觀するに人寄りのところへ顔を出すものは好調にあるものが多いようであり、人寄りに集らない人にはたまに、性來ひつこみ思案の人もありますが、多くは好調をエンジョイしていいもののようであります。若しこの推測にあやまりないものとすれば、同窓會が盛んに行われるということは、同窓生諸君の發展ぶりを寫し出しているものと言つてよく、うれしいことであります。同窓生の發展は本學の發展であり、この上の發展の基礎となるものであります。どうか諸君は手に手をとつて扶けあい、力をあわせて世のために多くの貢獻をしていただきたいと存じます。

本學出身者である自負をもち大いに羽よくをはり、世界の隅々地の涯にまで發展されることを望んで止みません。



同窓生の 活躍發展を祈る

菅野和太郎



昭和學園の創立に参加し爾來その育成に努力して來た私として、昭和商、大阪女子經專、大阪經專、大阪經濟大學の出身

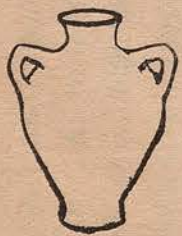
者が今や四千に垂んとし世界の各地に發展して行くさまを眼のあたりに見ることは誠によろこびに堪えません。この發展に對應して同窓會もまた隆盛に赴いていることは重ねてのよろこびであります。同窓生諸君が社會の各層に活躍して成績をあげていることは後進に大きな期待を抱かせることにも

なります。私は後進がいたすらに依頼心を持つことではなしに航海する船舶が燈台を見るようなもので、安心して大膽に航行を續けることが出来るからであります。この点からも諸君が活躍し發展されることをよろこび、かつこの上の活躍發展を期待し、かつ祈つて止まない次第であります。

菅野和太郎先生の一面

菅野氏はかねて本學園の創立の中心人物となり、理事長、常任理事、校長として親しく經營にも参加され本學の發展に寄與されたことが大きい。現に教授であり理事として本學の發展に盡力しておられます。又外部にあつてはかつて大阪商大教授、大阪市教育部長、大阪商工會議所理事長としてその手腕を謳われたことは知る人ぞ知る、昭和十七年大阪から代議士に立候補し、大阪府の最高點で當選したことも周知の事実である。

(AN記)





「澱江新年號に寄せて」

同窓会理事長 渡 邊 達 好

謹んで新年の御祝を申し上げます

同窓会の皆様には屹度御立派な御年を御迎えになつたこと、思います。想ひ起しますと昭和二十年のあの終戦から早くも十年の歳月が流れ去りました。其の間目まぐるしい世界の変り方は申すに及びませんが、日本の政治、経済の発展も又皆様御承知の通りで御座居ます。今日は又終戦後の深刻なデフレ経済の様相を呈してはおりますが、同窓の皆様には如何御健闘で御座居ましようか。

嗚かしデフレの困苦にもめげず真剣に御生業に御取り組みのこと、存じます。

擬母校も年を経るに従ひまして一途に発展の過程を辿つております。母校を卒えられて以来久しく母校を御訪ねになつていられない皆様には此度母校の新しい姿を御覧になればびつくりして御喜びいたゞけること、思います。

卒業生の回数も昭和二十九年三月の卒業者を加えますと実に二十回となり、其の数も四千名を数える様になりました。狭いと云つても北は北海道

から南は九州のはてまで多数の同窓がおられること、思います。年に一度の総会も欠かすことなく開催致しております。本年は御住所のわかつております限りくまなく総会開催の通知を出さして戴きました。誠心こめた便をのせて御返事をいたゞいたもの実に八百通、感慨一入深いものが御座いました。遠隔の地に御在居の皆様にはさぞかし感慨をこめて上新庄の母校に思いを寄せられたこと、思います。秋晴れの好天氣に恵まれました去る十一月二十一日、第一回卒業生の皆様から第二十

回卒業生の皆様まで合せて三百名以上の同窓生があつた講堂に一杯集りまして、親しく御互の健康を祝ひつゝ、母校発展の姿を眼の辺りに見乍ら一日を愉快に過ごしました。御出席の御出来になられなかつた皆様どうか御喜び下さい。私共の同窓会も母校の発展と共に立派に発展しつつあります。それにつけても只心から申訳なく思つておりますことは私共同窓会役員の努力の足りない所がら皆様に十分喜んでいたゞけることの余りにも慚



本部よりお知らせ

総務部より

世 良 鍊 次

理事会の決定事項を実施して行く常任理事会の中核となつて推進してゆくのが総務部の仕事であることは百も承知してはいますが、苦しい云い訳となりますがお互いに先ず会社の仕事……と云う事になりますので、昨年も大して皆様の御役にも立たず恐縮している次第で御座います。

然も役員会も年間数回開きますが、役員の皆様は忙しい中をよく集つて頂き熱心に協議して頂きますことを、本誌を借りまして御礼申上ますと共に、会員の皆様に御報告申上げ御許しを願ふことと致します。

会員数も四千名近くとなり今後の運営に付きましては、更に皆様と御相談の上益々発展する様努力せねばならぬと思つています。然し私は会員数の多い事を誇りとのみするものではありません、

同窓会の発展は母校に関心を持つている会員数の多い事を自慢せねばならぬと思ひます。

過去三年間の総会出席数は一二〇名、二二〇名三〇〇名と逐年増加致し、昨年度の総会通知は往復ハガキでやりました処一千余通の返信を頂き感謝している次第で御座います。これ等の事実を觀て恐らく全国一の同窓会であると云つて過言ではないと信じます。

「澱江」第六号が一寸おくれましたが、第五号以後の重要な出来事を御報告申上ます。

1、昭和二十八年には終戦後第二回目的名簿の編輯を行いました。

2、昭和二十七年の総会後大北教授が病臥され未だ御療養中であります。

3、梅田教授もその後泉南の国立病院で加療中でありまふ。(開校以来御苦勞頂いた阿教授の御回復を心から御祈りしてゐます)

4、総会期日を毎年十一月初に行う事に變更致しました。(一昨々年までは五月)

いことです。至らざる点何卒御赦し下さい。

関西御在居の皆様にはせめて一度の御会合の機に御赦しを戴いてもおりますが、遠方の皆様にはそれも出来ず又共に語り、共に悦び合う機会のないことを実に残念に思つております。此の意味からもせめて母校の香りや同窓生の便を皆様一人々々に御伝えしたい念願から此の澱江の刊行を継続さしていただいております。全くさゝやかな同窓会の葉では御座居ますが、多忙な役員の御協力を得てのものしたもので御座居ます。本誌に盛られているもの決して多くは御座居ませんがどうぞ表紙から裏表紙に至るまで母校の香と我学園ならでは得られなかつた同窓会員の豊かな香りでしみ込んでいるつもりであります。

何卒在りし日の大隅の学舎を想ひ起して下さると共に且て御休得になりました昭和学園の不屈の精神で一層の御活躍御奮闘を下さる様御祈り申上ける次第で御座居います。



民 謡 詩

宇 治

三 卒 中 村 武 雄

川は宇治橋
土堤にはさくら
山の若葉の
青嵐

新茶召せよと
あの娘が吸んだ
お茶は旅路の
うすなさけ

旅のなさけは
はかないものよ
娘茶の木のかき
かきのかき

宇治は茶所
茶の木のかきで
ちよいと見た子が
忘れぬ

5、右に伴い決算期を十月一日―九月卅日に変更致しました。

6、昨年同窓会々則を制定致しました。

7、総会出席者には毎年一〇〇円程度の記念品を出すことと致しました。(昨年は花瓶、一昨年灰皿、一昨々年名刺入)

尙支部にも支部長と御相談の上御送りしてあります。

私は常に同窓会は学校と共に生き学生と共に在り度いと思っています。学生なくして学園の繁栄なく、学園の繁栄なくして同窓会の発展もありません。経済単科の新制大学として学生数の多くも望まれず、大阪に於ける経済専門の特色ある大学として優秀な多くの受験生を集め、就職率も他校の及ばないものとする可く学校当局も献身の努力をしています。

我々も後進を導き優れた人材を社会により多く送ることが、因果関係を結び学園、同窓会の発展をもたらすことを忘れてはならないと思います。

最後に私の本年行い度い事を二つ申上げ本稿を結び度いと思います。

先づ第一は

同窓会の組織の一部として専門部会を持ちたいと思います、金融、保険、鉄鋼、機械、繊維、貿

易、自動車等々、各々その業界毎に部会を持つてお互いに連絡研究する事は色々な意味で有意義な事と思います。而して学校当局は之の部会に専門担当教授を専属させて我々を何時までも導いて頂き又一面では目下苦勞されている学生の就職運動に利用して頂き度いと思います。学生の売込みも商品の販売と何等異なる処はありません。専門知識を持たれた先生方がその業界を巡回され、ば専門的な話題も出来、毎年繰り返すことによりその会社幹部と親しくなることも出来ます、そしてその年度の需要数も把握する事が出来計画性を持つことが出来ます、吾々も斯る上は一段と御協力せねばならぬと思います。

次に同窓会の基金を作り、順次形のあるものにして行き度いと思います。在生学生も増え予算も年間七十万円程度組む事が出来る様になりましたので毎年一定額を積立て将来卒業される学生のためにも例へばクラブ式なものを作り、出張者の連絡、宿泊場所等を設置しておくのも一つの方法かと思ひます。又一方本学の同窓会費は在学中に納入する慣例となつていいますので、学生諸君にも及ぼす何かを考え度いと思います。自治会との懇談会は既に持っていますが、その意見も聞いて本年は先づ正門前の整備とグラウンドの整備を同窓会で援助

編輯部より

宇野善四郎

先づ新年お目出度う御座います。待望の「激江」が二年余の空白を埋めて再刊されます事を皆様に共に心からお喜び申し上げます。

世間には同窓会報とか、同窓会雑誌と云うものは、兎かく特定人の雑誌の如く考えられ勝ちであります。先づ型通り、理事長、学長の挨拶、教授の固苦しい理論説等々と……。

私達はそうは考えておりません。同窓会雑誌は同窓生諸兄弟のものであつて、一部のむづかしい理論をこね廻す人々の物であつてはなりません。

流れを持っています。その流れを美しく生ず運営に在ると思ひます。

大阪経済大学同窓會會則

第一章 總 則

第一条 本会は大阪経済大学同窓会と称する。

第二条 本会は会員相互の融和親睦並びに社会的地位の向上をはかるとともに母校の発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達する為左の事業を行う

- 1、会員相互の親睦をはかるに必要な事業
- 2、學術の研究講演会等の開催
- 3、その他必要な事業

第四条 本会は左の会員に依つて組織される。

- 1、正会員 母校卒業生
- 2、特別会員 母校教職員、旧教職員及び本会に特別の関係あると認め理事会の推薦したもの。

第五条 本会本部を大阪経済大学内に置く。

構、大いに経大同窓生で新しい型の同窓会雑誌をつくって行き度いと思つて居ます。一行でも二行でも結構です。御投稿下さい。皆さんと共に楽しい同窓会雑誌「激江」を育て、行き度いと切望します。

同窓會機構

昭和二十四年八月総務、企画、編輯の三部を設置して参りましたが、昨年月の役員会に於て左の通り改正、夫々担当者を互選の上決定致しました。



會則の制定

長い間、懸案となつていました会則を昨年度総会に諮り左の通り制定致しました。

字句その他に種々御意見もあることと思ひますが、私共の同窓会の精神は他に見られない美しい

吾々がその日／＼を生活して、その過ぎ去つた一分一秒を意識し、生活している人は何人いるでしょうか。時に、反省して何時何処で何をして居たか、あゝあの時は、あの当時はと、後日、楽しく思い出の為に、その意味からも日記とか、こう云う「激江」に昼休みのお喋り、一杯飲みながらの駄弁氣焔をそのまゝ文章にしておく事は大いに意義ある事と思つて居ます。

そしてこの小冊子のどこかの頁に、自分が綴つたものをあとからそつと読みかえして見る楽しい氣持を御存知でしょうか。何年か経ち古いアルバムの様にそれを開いて見る……自分でなくても最愛の妻が、夫が、子供が、孫が……考へて見れば楽しいものであるとお考へになりますか……。又過去・現在・将来に於ける自己を *denken* し自己を *Aufheben* する泉ともなれば……と考へて居ます。

こう云う意味で、地方の風習、又郷土自慢・郷土史から、勤務先の又楽しかった新婚旅行の思い出でも、不平、不満、詩、歌何んでも結構!! 誰もわからない自分丈しかわからない理論太いに結

第二章 役員及び役員會

- 第六條 本會に左の役員を置く。
理事長 一名
常任理事 若干名
監事 各回三名
第七條 理事は總會に於て會員中より選出する
第八條 常任理事及び監事は理事の中より選出する。
第九條 理事長は常任理事の中より選出する。
第十條 役員任期は三ヶ年とし再選を妨げない。但し任期満了後と雖も次期の役員の就任する迄引續き其の職務を行う。
第十一條 役員中缺員を生じた場合は、常任理事會の決議により補充することが出来る。但し、その任期は前任者の残余期間とする。
第十二條 理事長は本會を代表する。
第十三條 理事は理事會を構成し、重要な會務に付き協議する。
第十四條 常任理事は常任理事會を構成し會務の運営にあたる。
第十五條 監事は會務を監査する。監事は理事會常任理事會に出席して協議にあづかる。

第三章 總 會

- 第十六條 定時總會は毎年一回開催し會務及會計を報告し役員改選其の他重要事項を決議する。但し決議は出席者の過半数をもってする。
第十七條 臨時總會は理事會に於て必要と認めたる時之を開催することが出来る。
第十八條 本會の會計年度は毎年十月一日に始まり翌年九月卅日に終る。
第十九條 本會の経費は會費、寄附金及び其の他の収入を以てこれに充てる。
第二十條 正會員の會費は理事會においてこれを定め母校在学中に之を予納するものとする。

第五章 庶 務

- 第二十一條 本會の財産は理事會が之を管理する
第二十二條 本會には左の帳簿を備付ける
1、會員名簿
2、會計帳簿
3、備品台帳
4、業務日記
5、其の他必要な帳簿

第二十三條 本會の事務を處理するため囑託をおくことができる。

第二十四條 本會員は住所、氏名、職業、勤務先等一身上の変更を生じたる時は速かに書面に於て本部迄通知しなければならぬ。

第二十五條 地方に在住する會員は其の地に支部を設置することが出来る但し支部を設置した時は左の事項を本部に通知し、理事會の承認を得なければならぬ。
1、支部の名称
2、支部の所在地
3、支部の規約及役員並びに支部員の氏名
4、其の他参考となる事項

第二十六條 此の會則の改正は總會の議決を経なければならぬ。

第二十七條 此の會則に定めなき事項で運営上必要なことは、理事會で決める。

附則 此の會則は昭和 年 月 日より施行する。

會計報告

昭和二十九年十一月二十一日總會に左の決算表提出、皆様の御承認を得ました。(自二十八年四月至二十九年九月)

収入の部	
二七年度より繰越	一一七、六六九円〇〇
會費收入	一、〇七三、五八〇・〇〇
名簿收入	九二、四九〇・〇〇
寄附金	一、〇〇〇・〇〇
計	一、二八四、七三九・〇〇
支出の部	
總會費	八六、八七六円〇〇
役員會費	八九、四〇五・〇〇
支部費	七九、一四〇・〇〇
名簿費	二八八、七五二・〇〇
慶弔費	二二、九八七・〇〇
見舞金	一三、八〇〇・〇〇
自治會懇談費	一〇、七二〇・〇〇
電話料	五、一〇〇・〇〇
事務費	一八、一〇〇・〇〇
次年度繰越	六六九、八五九・〇〇
計	一、二八四、七三九・〇〇

學舎増築及び補修

御承知の通り本館は鉄筋コンクリート造ではありますが、建築以來二十年もたちますので相当いたんでいました。

ことに木造モルタル塗の体育館、食堂などは表面何の異状はなくとも調べてみれば本部の腐朽が甚しくて危険状態にありました、その上戦争で本館屋上には多数の焼夷弾を受けたので防水が破壊されて雨が漏り、ジェーン台風や十三号台風では体育館や食堂の屋根のスレートが殆ど飛ばされ、窓硝子は破られ、雨もりて天井のテックスは落とされましたので惨状たる状態がしばらく続きました。

大學設置条件になっていた図書館の新築、学生増加に伴う教室の増築などは中でも大きな問題でした。

これらを補うために、数年間に可能な範囲で最少限の工事が毎年行われましたがその主なものだけを挙げて見ましょう。

まだ成すべき事は沢山ありますが、それが出来るか出来ないかは要するに今後の本學の發展如何にかゝると申せるでしょう。

二十六年度 講堂屋上防水改修

二十七年度 体育館、食堂、渡廊下の屋根を鉄板に葺替

同 講堂内部補修(天井テックス張替、壁、建具塗替)

同 体育館全面的改修(木部取替、壁面塗替、電灯増設)

二十八年度 本館屋上及び地下室防水改修

同 食堂増築

同 研究所屋根葺替及び天井テックス張替

二十九年度 本館一五〇坪(鉄筋コンクリート造)増築(一階・二階を図書館に三階を教室に充當)

同 地下室に間仕切設備(自治會部室に充當)

同 本館階段改修



挨拶

佐藤和夫

このたび同窓会誌が刊行されるとの事で御座居ますので本学自治会を代表致しまして一言御挨拶申し上げますと共に本学の近況など御報告申し上げます。

本学は御存じの様に昭和七年創立せられ、以来二十一年比較的歴史の浅い学園であります。黒正厳先生の良き御指導の下、今日の大阪経済大学に発展し来ったものであります。今もなおその「黒正イズム」は本学の根幹となつて至学の中に生きております。又既に学窓を巣立つて社会に活躍せられております諸先輩の絶えざる御助力が経大を今日あらしめたものと今日茲々に同窓会誌刊行に際しその御努力に深甚なる謝意を表する次第であります。

さて、同窓生諸兄弟に於かれては充分御承知の事と存じますが、現在日本は朝鮮動乱以来の狂的ブーム並びに放漫な無計画経済の結果として、昨年末よりデフレ政策が強行せられ世は華けて不景気の波に洗はれております。斯かる時私達学生も又例外であり得る筈はなく来春学窓を巣立たんと

民謡詩

山の嫁入

三 卒 中 村 武 雄

山の嫁入り
七頭の馬が
鈴に勇んで
荷が軽い
ほろいよ
土橋やせまいぞ
提灯持や先だ

わらじ脚絆の
花嫁様は
小川またいで
谷水のんだ
ほろいよ
花嫁恥ぢるぞ
提灯持ちや先だ

月が照らした
花嫁様は
谷を見下ろす
崖の上
ほろいよ
曲道や暗いぞ
提灯持や先だ

山の嫁入り
夜更けて着いた
室ぢや盃
裏庭月夜
ほろいよ
夜明や近いぞ
鶏が啼く

各部活動状況

運動部展望

再発足させております。この外昨年より理髪業者を入れ廉価な学生理髪店が設けられております。又昨冬より冬季には教室内にストープを設置し勉学に励む学生諸君の良き友として活用されております。以上がその概要であります。諸先輩に於かれては耳新しい事と存じますので御報告致します。

これに伴って学内のクラブ活動も活潑を極め他の大私学に勝るとも劣らぬ多数のクラブを擁し為に自治会は部費配分に四苦八苦するという笑えぬ悲喜劇すら生じております。然しながらその活躍も目覚ましくサッカーの一部リーグ準優勝、軟式野球部の今夏全日本選手権獲得等多々見るべきものがあります。詳細は別稿『各部活動状況』を見て戴く事と致しまして、兎に角我が大阪経済大学が日一日と進歩発展しつつある事を知って戴きたいと存じます。末文を記す次第であります。

どうか諸先輩に於かれても何かと御多忙の事とは存じますが、折に触れ母校をお訪ね下さいますなり、或いは又、機会ある毎に私達後輩を叱咤、御教導下さい様御願ひ申し上げます。

以上、粗雑ではありますが大阪経済大学自治会を代表致しまして近況報告並びに御挨拶を終らせて戴きます。

(第一学部自治委員会委員長)

今年度本学運動部は数多くの活躍を成し中でも本学運動史上燦然と輝く二つの金字塔が打ち建てられた。

一つは各新聞秋のスポーツ欄を賑わし又関西学生サッカー界に大波乱を捲き起した、本学蹴球部の躍進であり、更にもう一つは軟式野球部の夏の陣に於ける全国制覇遂行の偉業である。其他新進バドミントン部の二部優勝、硬式野球部の秋季大会優勝、ハンドボール部・卓球部等の善戦と限りなき活躍の跡がみられ、更に来年への大きな期待も湧いている。

こゝで各部々室をのぞいてみよう。

★蹴球部 本学花形の一角サッカー部の本年の足跡を辿ると前年の全国覇者関大を第一戦に破り更に優勝候補随一の関学には最後まで肉迫するも勝運なく二位に落ち着いた。各新聞社の予想を尻目に四勝一敗の成績を挙げ得たのはひとえに福田主将を中心としたチームワークの賜とあろう。来年度は更に新主将、長(神戸出)のもとに結束するならば優勝もさして至難事ではなからう。

する学生は近來稀に見る就職難に喘いでおります。政治の貧困、経済の脆弱之等を思う時、私達学生はやゝもすると暗胆たる気分が臨らざるを得ません。然しながら私達は将来傷つける日本を再建し、背負つてゆかねばならぬ責任と義務を有するものであります。一歩々々私達学生の力で民主的な政治、強固な自立経済、そして住み良い社会を築きあげるべきだと信ずるものであります。その為には学生は自己の使命の如何に重大なるかを認識し一層の勉学錬磨に励まねばなりません。

かゝる見地より本学自治会はこれまで学生諸君が気持良く勉学できる様あらゆる点に努力してまいりました。例えは此の二、三年間に経大は設備その他の面に於いて相当の改善が行はれ充実してまいりましたが、その主なものを拾つて見ますと、先ず、戦時に荒廢致しました大講堂及び体育館の改修、地下室修理に依る部室の新設、更には年々の宿願でありました図書館新設も校舎増築(図書閲覧室、書庫、教室一)に依り達成せられました。又本年四月依り学内放送設備を装置し、学生の手で定時学内放送を実施して学生々活の向上に資しております。他にこの九月から従来学生諸君より不評を受け改善を要望されておりました学内食堂も経営者を入れ替え実質的な学生食堂として

尙全日本サッカー・チームに本学福田(大阪出)が選抜され新春行われる対ビルマ親善試合の爲十二月末空路ラングーンに向う。

★軟式野球部 クラブ結成以来の宿願は遂に今年八月東京八王子市球場で達成された。近畿リーグ春季戦に十勝全勝、七月松山の西日本大会は惜しくも二位次いで東京の全国大会には東京、関東、関西、近畿の各リーグ覇者及び四国、九州、東北の代表チームのトーナメント戦に輝く勝利を納めたのである。バッテリーをはじめレギュラー殆んどがそのまゝ来年も出場という好条件は今後益々楽しめる事であらう。

★硬式野球部 卒直に云つて十分の力を出し切れず再び近畿リーグ二部に甘んじた。即ちリーグ随一の打力、得点力を有しながら投手力、守備力がこれに伴い切れぬ面があった。しかし秋の大会には下級生を中心とした新陣容でのぞみ輝く優勝なり全部員来年こそはの大きな自信と燃ゆる闘志を沸き立たせている。

★送球部 関西学生リーグ春秋共2位に甘じ、しかも四勝一敗の好成績であつた事は惜しまれてならない。これは部員数の不足で今一步の力が発揮出来なかつた事に起因するのではなからうか。卒業と共に三名のレギュラーを送るが原動力は温存

されている。亦運動総部長に当部より奥田を送り責任は大きい。これが部に対してよき刺激となり数年前の盛況時代に返り咲きたいものだ。いやその日も遠からぬ事だろう。

★卓球部 地味ながら関西リーグ一部に頑張り続ける卓球部の今年の成績は春秋共リーグ戦に破れ入替戦に勝つという涙ぐまじきものだが今年活躍の選手は全て一、三年の若手ばかりで来年こそ上位進出、さては首位への道も夢ではなからう。連日体育館にフアイトに燃ゆるラケットの音が快く響いている。

★陸上競技部 毎年除々に向上の途を辿りながら今年は関西インターカレッジに十二校中5位西日本商経大会に十四校中5位の成績を上げ更に関西インターカレッジ一部進出を目ざしてシーズンオフで静まったグラウンドに寒風ついて黙々と練習にいそむ部員の姿を見る時彼等の努力の一日も早く達成されることを祈る。

★バドミントン部 部として結成以来二年遂に二部リーグ優勝を成し更に十二月末一部最下位チームとの入替戦が行われる。一部昇格を目指して部員一同猛練習を続けているが必ずや本学を上げての期待を完うしてくれると確信する。部員としての伝統は浅いが今後の活動に期するところが大きい。

い。

★ラケット部 白と青の縞のユニフォームを真黒く染めながら、対滋賀大、大工大等の定期戦に大勝すると共に、いつの日にかは立つべき関西舞舞台を目指して精進の日を怠らない。

★軟式庭球部 春夏秋冬を通じてコートに姿を見せぬ日は無い。しかも杉浦教授を交えてのなごやかな雰囲気は羨ましい。それと共に関西学生庭球界に進出する事を願って止まない。関西学生トーナメントに優勝した、藤村の活躍も期待されている。

★硬式庭球部 連日使用の為のコートなく十分な練習も出来ず、悩んでいる庭球部であるが朝日招待テニス、関西学生トーナメントに出場しつつ栄光の明日を期待し部員の結束に全力を尽くしている。今秋には新進トーナメントの三回戦出場の成績をあげ期待の持てる選手も居る。

★排球部 関西学生リーグ三部にありながら上位進出の気概に燃え亦二、三年を中心とした新陣容の基礎は十分。本年の戦績でも上位チームをなぎ倒しながらも下位に喰われるというチームの若さで惜しくも二位となり来シーズンへは明るく大きな期待がもたれている。

★バスケット部 当部も排球部と同じ三部2位と

惜しい成績で来年こそ上位進出と思われ、且つ実力を有しながらこの様な結果となった。チーム実力も依然充分、冬を迎えチームワークを固め得るならば来年こそ二部更に上位進出も約束される事だろう。

★拳闘部 部の結成以来二年、歴史は浅いが部員の熱意が買われ今春関西学生リーグに加入、その檜舞台に名を響かす事となった。本年は最下位ではあるが今後のリーグ戦には一戦毎に上昇の途を辿る事だろう。

★空手部 当部も亦極く最近、山根四段を中心として結成され、専ら新人の養成に努め有段者は二段三名、初段数名を数え来年からは対抗試合にも出向かんと覇気は鋭い。亦本学文化祭(六月)には特別出演し演武を行い、その鮮やかさと真剣味は全客観をうならせ、当日の呼び物となった。

★柔道部 空手とほぼ同様なコースをとり専ら新人の養成につとめ黒帯も今は十名余、本年は全日本学生柔道連盟にも加入、本学二号室を臨時道場に改装し寒さの増すと共に益々その練習もますます、特にニユー・ジャパンの師範杉田七段を迎えての努力も高く買われてよからう。

★水泳部 学校にプールのないという最大の悩みを持ちながら関西水連二部に於いて十数校中第6

位という成績は決して劣るものではない。下級生には四百・八百に有望なる選手を有し、今後の精進に上位進出、一部加入を目標に水あたまを磨く日待っている。

★山岳部 富士の大遭難事件の如く常に計り知れない危険にさらされながらも、更に黙々と高山へ、

危険の中へとつき進んで行く山岳部は本学に於ても、春夏秋冬と常に北アルプスに、富士山にと挑み続けている。尚本学パーティーも十一月十九日より二十四日までに富士登頂に成功し大雪崩事件に対して一しお感慨深いものがある。今冬も白馬周辺登頂を計画中である。

クラブ名 主な成績等

サッカー部	関西学生リーグ一部2位、大阪府学生リーグ優勝。
軟式野球部	近畿六大学軟式野球リーグ春季優勝、秋季2位、全日本夏季大会優勝。
硬式野球部	近畿六大学秋季二部リーグ優勝。
ハンドボール部	関西学生リーグ二部春秋共2位。
ラグビー部	対滋賀大等の定期戦に全勝。
陸上競技部	西日本商経大会5位、関西インターカレッジ二部5位。
卓球部	関西学生リーグ一部6位(春秋共)。
バドミントン部	関西学生リーグ二部優勝、春季大会3位。
軟式庭球部	定期三校リーグ優勝、関西B級トーナメント優勝。
硬式庭球部	朝日クラブ対抗出場、関西学生トーナメント出場。
拳闘部	関西学生リーグに新加入本年6位。
バスケット部	関西学生リーグ三部2位。
バレー部	関西学生リーグ三部2位。
水泳部	関西学生水泳連盟加入、二部第6位。
柔道部	全日本学生柔道連盟加入、西日本大会4位、有段者10名。
空手部	流派ニ系洲派、有段者四段1、二段3、初段3名。
山岳部	夏、穂高、濁沢にベース・キャンプ、秋、富士山トレッキング、冬、白馬登頂(予定)。

民謡詩

お 咲

三 卒 中 村 武 雄

ひとり旅立ちあ
さぞ淋しかる
おさきや涙で
村はづれ

若い身空じあ
のぞみもあるに
お咲や何故なく
橋の上

淡いあの夜の
喜び秘めた
藪も佐吉も
いまさらば

街へ旅立ち
お咲はひとり
悲しめなったら
空を見る



漫 筆

一、えい山のアベツク

秋の好日和を利用して比えい山に遊ぶ。杖をひき、ひょうたんをかついだ老人など一人として姿を現わしていない。下鴨から八瀬まで電車、八瀬から四明嶽までケーブル、杖をひく場所が無いのである。それとも京都とは言っても今時、そんなのんきな人はもういなくなっているのかも知れない。永観堂あたりもこんなものだろうか。

山の上には人はいくらでもいるが、大抵アベツクである、でなければ団体である。よく駒下駄の山登りとか箱根山を足駄がけとか言ったが、日本服で下駄ばきのお客は極めて少い。男の靴は判っているが、おかしなことに女は草履をはいている、洋服に草履は誰が見てもおかしいが、山ではこれが流行かと思われる程多い。足が痛いからだろうと思つたが、靴よりも草履の方が足が痛い。下からの刺戟もさることながら、鼻緒でしめつけられるとマメが出来るに定つてゐる。よく考えて見た

西野入愛一

ら判つた、靴は中ヒールかハイヒール、しかも新調ものである、これでは足が痛いよりか靴が痛いのである。ストッキングもハンドバックに收つてゐるらしい。

遊らん地にはどこでも出店がある、山の上でどろいたことは、この出店を無断無料で使用してゐる人が多い。その出店に客がいてもその客の前に立つて眺めを奪つてゐる人の多いこと。いくら敗戦後とは言つてもこのエチケット知らずにはおどろいた。商売人はもうけようと思つて、席を設けていることを知らない程、今の人は無知なのであるか、いやいや、あつかましいのだ。

山門に鐘がある。開運の鐘と言つて一つき五円と書いてあるが、払つて行く人を一人も見かけなかったのも不思議でならなかった。旅の恥はかき捨てと言つてもこれにはあてはまらない。さいせんどろぼうというものがある、他人の献けたさいせんをかつばらうのである。これは出すべきもの

を出さないからどろぼうではないにしても、どろぼうと同じ効果がある。
明治二十年代に生れた人には判りにくいことが沢山ある。

二、芝居と辨當

先だつてある大会社の招待で歌舞伎へ行つた。主人公にあいさつするのが礼と心得ているので受付へ行くと、いきなり弁當を渡された。然るべき幕間に食べようと思つて「あとで貰いに來ます」と言う「いや、あとは係がいなくなりますから」と言つて係のものが座席まで持つて來てくれた、東京とはならわしがちがうのである。私はひとり淋しく無料食堂でこの弁當の一部を平け別にビールを二本程片つけた。東京では弁當は食堂で食べる、だから本学で招待するとすれば、食堂に席を予約しておく、そこには「大阪経済大学様」と看板が立つ、招待された客は、座が食事時間として二十分二十五分位の幕間と大抵二回位用意してあるから、その幕間を利用して食事をする。主人側はもてなしをする、自前の人も同様で、ふりに行く人もあるし、予約しておく人もある。

この大阪のならわしが珍らしいから、みんなこんなものかと、あとで友人にきくと、みんなその通りで、よばれたものの中には芝居など見ずに



支 部 便 り

△大阪市役所支部

第一回生 広田実氏を支部長として十八名の同窓生が商都大阪の行政面に新しい息吹きを以て活躍されていることは母校将来のため一段と心強さを覚えます。

昨年度総会は十二月十二日午後四時より、南区相合橋「富士」に於て、奥村教授、中村清次郎旧師を招き師走の寒風も温む懐旧談に楽しい一タを過ぎた。本部より宇野編輯部長、世良総務部長が出席致しました。

△東海支部

愛知、三重、岐阜、静岡の四県をまとめた東海支部は地域的に一番広い支部で運営も非常に困難な支部であります。然し井戸田支部長を始め、大多和副支部長、岡田幹事の熱心な御努力に依り仲々活潑な活動をして居られることは敬服の外ございません。

昨年も春秋二回総会を開き、去る十二月十二日の秋期総会には学園より西野入理事長、藤原教授を招き、名古屋市中村区「笹安」で二十数名の出席者を得て今後の運営に付協議しました。

本部より渡辺理事長が出席致しました。

△東京支部

大都會の支部活動は日常生活のきびしきもあつて非常に御世話役は苦勞されています。船橋支部長が二年間病氣であつたため、十回卒の服部さんが事実上の支部長の役を勤められ、昨年も十一月四日、銀座「ビルゼン」で盛大に開催、大都會の屋根の下で同窓生のみが味い得る楽しい一タを過ぎた。本部より世良総務部長が出席致しました。

△姫路支部

終戦後逸早く支部を結成し、母校後援のため学生募集、或は入学試験場の設置等非常に積極的な活動がされてゐますことは、感謝の外ありません。昨年末、永川支部長から左記の通り挨拶が参りました。

年末も近付き同窓生諸兄には越年準備に御多忙のこと、存じます。姫路支部に付ては種々詳しく書き度いのですが今回は概況と要点を御知らせ致します。

- 一、支部創立結成 昭和二十三年一月
- 二、総会其の他会合数 十回
- 三、支部会員 約七十名(含播州一円)
- 四、経大在學生 約一二〇名(含播州一円)



その弁當だけ貰いに來るものもあるときかされた、そこで思ひ出すのは、宴會に招待されて欠席するとその宅へお膳を届ける慣習が昔からあつたことである。もう一つ、私が若い頃、会社で色々と世話をしてくれる老人をねぎらう意味で一タ招待したことがある。何が好きかとよくと川魚料理が良いという、堂島川の〇〇に行つて老人にすゝめるが一向にうなぎを食べない、あいがもにも手をつけない、鯉のあらいはいかだとすゝめると〇〇K、とつて見るとやはり手をつけない。「川魚がホンスキで」と言つたのが不可解になつてしまつたが、あとで解つた。キモスイのスイだけのんでキモも、うなぎも、あいがもも、鯉のあらいもみんな折に入れて宅のみやけとなつたのである。

物はきいて見るものである、きくは一時の恥、きかぬは末代の恥と古人は訓えている。禅宗の坊さんは油紙を持つて歩く、食物を残すのは失礼だと言つて、残つたものは根こそぎその油紙に包んで帰る、翌一日はおかずを造る世話が省ける、うまいことを言うものだと思つた昔を思い出す。

五、支部役員

支部長 永川 仁一
副支部長 柳 内 明
会計幹事 坂 口 一 男

次に大学昇格五周年益々母校が発展していることは嬉しい事であり、頼母しいことですが私は「同窓生こそ永遠のつながり」であると云う事を確信し新年を迎えるこの契機に大いに自己批判し団結して協力したいと存じます。

(一九五四、一二、一五)

△岡山支部

黒正先生御生誕の地であり、又御終焉の地としての会員数と云い、又会合出席者数と云い大森支部長を中心として黒正イズムに結ばれたきづなは、此処岡山を中心として又新しい波紋となつて瑞光原頭のそれにも増して延びんとしています。本年は恰も黒正先生の七回忌に当たりますので、大森支部長は是非岡山で盛大な法要を営みたいと申しています。何れ本部よりも御連絡申上りますが、全国の皆様その節は吾々の慈父、黒正先生の御冥福を心から祈ろうではありませんか。

△関門支部

風荒き玄海の波を眺めつゝ此処関門で活躍されている八名の方々が、昨年十二月十二日下関市第一

民 謡 詩

苺 切 り

三 幸 中 村 武 雄

鳴尾よいとこ
苺の出どこ
日本一やで
来てみたか

苺盛りに
ほどよいものは
露に日の出に
きり娘の唄よ

娘見たかよ
朝日に映える
女ざかりの
いちごぎり

鳴尾娘は
小唄が上手
苺育ちで
のどがよい



神 話 の 流 行

藤 原 光 治 郎

ひとつの神話が流行している。それは「人口過剰」の神話である。今日、なにかというと、われわれ日本人の生活がこんなに苦しいのは、敗戦によつてわが国土が小さくなった上に、海外からの引揚げや自然増加で、人口がうんとふえたからだ、狭い国土の上に大ぜいの人間がひしめきあっているのだから、われわれの生活が貧しく乏しいのは当たり前だ、ということ聞かされる。国土一平方キロあたりの人口でいうと、日本は二一八人で、オランダの二九一人について、第二位の高い人口密度をもっていることは事実である。ちかごろ、日本と何かと関係のふかいアメリカの人口密度は、一平方キロ当り一九人だから、アメリカの人口密度は日本のその一分の一以下になるわけだ。ところが、実は、この人口密度の低いアメリカにおいてさえも、人口過剰の問題が、学者や一般人の注意をひきつゝあるのであつて、これは考えてみると、ちよつと納得しかねることである。アメリカの学者たちの多くは、人口問題を、

いわゆるマルサス主義の立場から、理解し解決しようとしている。周知のように、マルサス主義の理論は、十八世紀のイギリスで、経済学者マルサスによつて唱えられたものであり、人口は生活資料よりもより急速に増加する傾向があるから、人口と食料とのあいだの量的ひらきはたとえざるをえず、ここから一般大衆の貧乏と罪悪がうまれる、というのだ。近代のマルサス主義者たちも、このようなマルサスの原理をうけついでるのであつて、かれらの論理はつぎのようなものである(一)人口はきわめて早い割合で増加する。ところが(二)人間が支配しうる生活資料の分量は、不変である。すなわち、いわゆる「収穫逓減の法則」にもとづいて、生活資料を相当程度に増加させることはできない。こゝから、生活資料にたいして、人間があまりにも多すぎることにになり、各人に高い生活水準を享受させることは、到底不可能とならざるをえないこととなる。だから、(三)かような人類の危機をさける唯一の道は、今すぐさま、戦争

をもふくめて、あらゆる方法で世界の人口をへらすことである。以上のごときが近代マルサス主義者の主張である。

ところが、実際の事情をみると、必ずしもそういう理くつは実情に合致していない。第一に世界の人口は、そう早い割合で増加していないのであつて、たとえば、西ヨーロッパとアメリカにおける人口増加率は、とるに足らないほどであり、しかもその増加率は漸次低下の傾向をしめしているのである。そしてこのような低下傾向は、主として社会経済的原因にもとづいており、一定の社会経済的原因があつて、それが出生率と結婚数の低下と、死亡率の増加とをもたらしているのである。第二に、収穫逓減の法則の作用の結果、既耕地はだんだん荒廃していつて、増産は不可能であり、また新しく開墾しうる土地はもはや存在しない、と近代マルサス主義者は主張しているが、この点についても疑問がおこる。たとえば、アメリカについてみると、同国の土地の大きな部分が腐蝕をこおむつており、耕作にまったく適しないまでに荒廃しているということは事実であるが、しかし問題は、このような耕地の腐蝕の過程を阻止し、土壌の肥沃度を回復し、改良し、収穫を増加させることは、はたして不可能であるかどうかということである。発達した科学と技術をも

ホテルで総会を開かれた報告を受けました。同席上吾々の後進にスポーツを通じ母校の精神を植え付けるため毎年拠金して運動部に寄附することを決議され、金二千円送金して来られました。その精神を体し本部で御取次ぎ致します。

母校を遠くはなれ猶且つ後進のために心遣いされている関門支部の皆様の御気持に眼頭熱きものさを感じます。関門支部の友に幸多かれと御祈り申上ます。

△京都支部

昭和二十六年在来の「京都人会」を発展的解消として京都支部を結成し、浜野昌三氏が初代支部長に就任今日まで御世話役をやつて居られます。

京阪神地区では母校が近い為却つて集会の困難な地区ですが、浜野支部長の御尽力により昨年度も十月第三回総会を開かれ、藤原、風間両教授が出席されました。本部より渡辺理事長が出席致しました。

神戸、広島、徳島、丹波、石川、高松等各支部の皆様も夫々御活躍頂いていますことをはるかに御喜び申上げています。

支部活動の御報告を待つていましたが御報告が間に合いませんでしたので悪しからず御了承願います。

つてすれば、それは必ずしも不可能ではないと考
えられる。たとえば、イギリスの経済学者スタン
ブによると、適当に耕作さえすれば、アメリカは
容易に五億の人口（現在は約一億五千）をやしな
うに足るだろう、ということである。また、国連
の食糧農業機構の議長であるデ・カストロは、世
界の人口は毎年一パーセントの割合で増加してい
るが、耕作の方法を改良するだけで、年に一・五
パーセントの食糧増産をなしうると計算してい
る。また、農耕に適する新しい土地がもはや存在
しないという議論も正しくない。みぎにのべたデ
・カストロはいっている。マルサスとは反対に、
食料の生産は、疑いなく、出生率の上昇と平行し
てすすむことができる。現在では、地球上の可耕
地の約一〇パーセントだけが耕作されているにす
ぎない。そしてこの可耕地の多くの部分は、新し
い機械、肥料、耕作技術、駆虫剤、混種の科学的
利用等によって、その生産高を倍加させることが
できる、といっているのである。事実、アメリカ
では、一九四〇年には、可耕地のたった二七・八
パーセントが耕作されていたにすぎない。こうい
うわけで、食料の増産は、深さにおいても（土地
改良、科学技術の応用等）、巾においても（新し
い土地の開墾）、可能だという結論になる。ドイ
ツの経済学者クチンスキーは、予見しうる技術の

発展は、一一〇億の世界人口（現在二四億）を許
容するだろうという評価をしている。食料が足ら
ないという主張を反駁する事実は、価格を維持す
るためにおこなわれる農産物の破毀とか、政府
の指令による耕作面積の縮小などの中にはつきり
示されている。（ニュース誌一九五二年八月号参
照）
上にのべたように、国土面積対人口の割合は、
アメリカ一九人、日本二八人である。しかし国
土のもつ人口扶養力を知るためには、一応、耕地
面積（これは必ずしも不変の大きさではない）と
人口とを比較することが必要であろう。アメリカ
は、耕地面積一平方キロあたり人口八三人、これ
にたいし日本は一、三二二人である。耕地面積対
人口の割合がひじょうに低いアメリカでさえ、人
口過剰の問題がおこっているとすれば、その比率
のひじょうに高い日本で人口過剰の問題が、やか
ましく論ぜられ、一般人のほとんど常識にさえな
っているということは、当然といえは当然であろ
う。しかし日本にも近代マルサス主義者がたくさ
んおるのであつて、かれらの所論が必ずしも当つ
ていないということは、つぎのような事実をみて
も、容易にうなづけることである。農林省の発表
によると、わが国の水田面積約二八九万町歩のう
ち、土地改良を要する水田面積は二六四万町歩

（用水不足田一一万町歩、排水不良田七二万町
歩、老朽化水田四八万町歩その他）にたつしてい
る。ノーマルな年の米の生産高は六、五〇〇万石
で、一年一人一石消費するから、人口八、五〇〇
万人とすれば、年間八、五〇〇万石の米が必要な
わけであり、差引き二、〇〇〇万石の不足とな
り、国内産の米にたよっているかぎり、二、〇〇
〇万人の人間が「過剰」だということになりそう
だ。今日、日本は米、麦、小麦、砂糖などの食料
品を毎年三〇〇万トン、約二、〇〇〇万石、金額
にして約五億ドル、輸入総額の二五パーセントの
ものを輸入しているが、砂糖は別として、米や麦
の輸入をやめて自足自給することができないもの
だろうか。米や麦の収穫が少く、食料の不足分を
輸入に仰がねばならないのは、結局のところ国土
が狭く人間が多すぎるためであらうか。それとも
現在の日本の社会経済制度が、米麦の増産を阻止
しているからではなからうか。みぎにあけた毎年
の収穫量六、五〇〇万石という数字は、反あたり
平均二石余りという非常に低い生産性を基礎とし
ておるのであつて、専門家のみとめるところによ
ると、この低い生産性は、排水と灌漑、施肥、深
耕、新種の育成その他今日の発達した科学技術を
応用すれば、もつともつと引上げることが可能で
ある。そこでもしも政府が本腰をいれて改良を要

する水田の改良にのりだすなら、増収けつして不
可能ではないということになる。それによつて反
当り一石の増収ができれば、二、〇〇〇万石の増
収となり、土地改良だけで食料不足の問題は解決
され、年々四、五億ドルの外貨を節約することが
できるわけである。事実、風水害、旱害、冷害、
病虫害等の災害によつて、日本は年々一、〇〇
〇万石以上の米を失っている。昨年のもあの惨たん
たる水害、冷害の事実でもわかるように、災害防
止に手を抜き、わずかの災害復旧費ですらいろい
ろな形で中間搾取をおこむり、国土は荒廢のまま
に放置されているからこそ、毎年莫大な量の食料
をみすみす失っているのである。さらに専門家に
よると、耕地を現在の二倍にすることは容易だと
いわれている。河川の流域や河岸にある沼、湿
地、干潟、砂地、また平地林、高原地、寒冷地等
として放置されているところを、国家によつて、
また国家の援助によつて開墾すれば、五〇〇万町
歩の耕地をふやすことは容易であるといわれてい
る。

以上によつてみても、食料と人口との関係が、
けつして人口の絶対数と農業の自然条件の關係で
はなく、農業技術を採用発展せしめえない農村
の貧困、高い肥料価格、災害防止の放置等の政治
経済的原因にもとづくものであることがわかる。

実際、多くの日本人が貧しいのは人口が多すぎる
からではなくて、むしろその逆であり、日本の多
くの人が貧しいから、その貧しい人たちが恰も
「過剰な」人口として眼に映るのである。失業
者、半失業者などの食うに困る人たちが「過剰人
口」として現象するのである。この場合、事柄の
本質と表面にあらわれた現象とは、まさに逆であ
る。ものごとの上つつらの現象だけを見る人々に
は、だから、この「人口過剰論」は甚だ受け入れ
やすい。しかし本質的には、理論的には、今日の
日本がおかれているところ政治経済情勢——低い
米価と低い賃銀、重い税金と高い物価、企業の赤
字と失業——こういったことの結果として、国民
の大多数によつて生活が苦しいのであり、そうい
う人たちが充分の生活資料を手に入れることがで
きないということ、こういう人たちが多すぎると
いうこと、こゝに問題の核心があると思われる。
現にヤミに流れている米は一、〇〇〇万石にのぼ
るといわれており、われわれはどこへ行つても、
お金さえあれば白米のめしが食える。このような
ことは何も米にかぎったことではない。試みに、
街の商店街、百貨店、問屋街をのぞいてみると、
いろんな商品が山と積まれてはいないであらう
か。戦時中のように、どこへ行つても、少くとも

昭和の初年の日本がそうであつたし、いまのアメ
リカにしてもそうであると思うのである。





就職一年生の辯

大学三回卒 川 野 群 平

四年の年月が余りに少な過ぎた様に感ずる経大生活、思えばぞっとする事、一、二ではなかつた。

卒業——就職とめばぐるしく生長する中で唯学生生活の延長でしかない様に思える現在の生活、そこに私は一種の希望と悲哀とを感ずるのだ。社会生活が、学生時代の生活と交りなく送り得るという事は少くとも私にとって幸せな事ではないかと思う。換言すればそれだけ現在(私の学生生活)の学生生活自身が現実的な社会生活をもつものである事に外ならない。それだけ一面から見れば悲劇だと云えるかも知れない。然し私は学生時代、特に経大に於ける四年の生活が、どれ程現在の務めそれ自体に与えた成果はどれ程大いにか判じ得ない。

私は一介のセールスマンである。非常に難かしいとして社会のシワヨセの最もはけしい職域だとさえ云はれている。確かにセールスマンと云う悲哀を感ずる事がすでに一・二に止まらない。然し

私はこの与えられた現在の職業を決して悲しむべき事だとは思はない。

むしろ私は私に一番適合したものであると信じている。何故ならばセールスマンは先ず売らんとするものより先に自ら自身を売らなければ決して動まるものではないからである。学校出たての弱才と雖も人間としての誠実あふるゝ行動をとれば必ず人間としての反射作用は必ずある。従って結論的には自ら自体の人間性を先ず買ってもらおうと云う事が先決であると思う。要するに自己を少しでもより人間的ならしむる事、自己を少しでも成長させる事なのである。

勿論これだけがセールスマンシップではないけれども私はこれが基本であり第一の要因であると思ふ。

人間は社会的動物であると聞いた様な気がするのだが、学生時代と雖も社会性なきそれは決して充分なものとは云えないと思う。学問と社会性と人間性、少くとも私は学問には余り縁のないもの

であつたけれど、経大生活中二年間の委員生活は私の人生にとって大きな影響力を持った事は言を待たないのである。私は決してナンセンスだつたとは思はない。むしろそれを誇りに思うのである。

現在の在学生の方々が、学問的、人間的、社会的にもより一層の成長をなさる事が第一であり、同窓会の諸兄弟ともより広く深く交はられる事は少くとも何等かの形で効果的であると信ずる。

経大イズムとは融和の精神だとさえ云はれているのだから、先生達とも先輩の人々ともつと腹たわわって話合ひ又その機会を作らなければ不可ないと思う。

私はいつも経大生だと思つて行動している。独特のフアイトと、向う意気、プラス教養さえあれば何んとかなるものだ。

将来に於ける経大のより発展は、老いも若きも、旧きも新しきも心から話し合える機会を、より多く持つという事から出発して学校に何らかの形で関係する全諸兄弟の愛学心によつてのみ左右されるであらう。

私も卒業生の一人として経大発展の為、微力ながら協力する事をここに約して駄文を封する次第です。(て大阪日産自動車勤務)

お手持の名簿を御訂正願います

御注意!!本欄記載箇所のみ御訂正下さい。他欄は名簿のまゝです。

編輯部

回数 頁数	氏名	勤務先	住所	回数 頁数	氏名	勤務先	住所
1 二四	赤松日出志(仁)	大阪製紙KK(大阪南区塩町通四丁目四三)	岡山東玉島市乙島一二九四	3 四二	柴野茂		島根県益田市益田イ、二九五
" 二四	赤澤孝一	中国電力岡山支店(岡山市内山下三〇)	(削除)	" 四三	玉井芳郎		広島市上柳町九番地ノ四
" 二五	小野坂真	日亜製鋼	大阪府北河内郡四條村寺川一二三	" 四四	中元大輔		大阪市城東区永田町八六
" 二五	北野恵造(三郎)		西宮市結善町九	" 四四	西田一雄	徳島市徳島大学芸学部	大阪府泉北郡高石町羽衣五七八
" 二五	澤井市雄		高槻市大字宮田一八二	" 四五	福井尙吾		堺市三条通六丁四七
" 二九	山口大藏	ジュラコンKK(西成区津守町東七丁目一六八)	京都市左京区智恵光院九太町主税町	" 四六	法貴道禮		兵庫県川辺郡六瀬村杉生奥山一番地
" 二九	山下三吉		大阪府豊能郡箕面町桜ヶ丘三七七	" 四七	満野圭藏	昭一九、一二、七戦病死於北支	
" 二八	菅波(山科)久	精和商事KK	香川県小豆郡三都村吉野	" 四七	矢野厚夫	昭和起重機製作所(西成区津守町西五丁目一六)	
2 三一	大山清		豊中市大字新免三一六	4 五〇	稲見實	丸山商店(北区梅田町)	西宮市建石町三七
" 三三	坂口福六			" 五〇	今戸國廣	神戸市役所	東京都目黒区本郷町六四
" 三三	寺本恵俊			" 五一	高橋進		千葉県松戸市上矢切三五五
" 三三	朝原武也	死去		" 五二	富田重雄		大阪市天王寺区堂ヶ芝八二
" 三〇	浅井喜作	戦死		" 五二	中村具勉(源)		函館市本町二八
3 三九	福田(氏原)正男			" 五二	原秀夫		神戸市葺合区宮本通一丁目三四
" 三九	大久保(内田)健二	大阪市立大学		" 五二	木本(福井)清夫		貝塚市海城新町四二五
" 三九	大多知義則		名古屋市中区鉄砲町岡田商店気付	" 五三	三木薫		
" 四〇	河合武正	昭二〇、五、一六、戦死		" 五四	山邊富己夫	三重県宮川高等学校 萩原分校	

4	五四	横田 信夫	昭十九、二、七、死亡 日本信用調査KK大阪支社 (日本銀行大阪支店西分 館内)
5	五五	飯田 三郎	長崎県教育庁管理課
5	五六	河北 正明	三重県名張高等学校
5	五七	清水 正好	三重県名張高等学校
5	五八	鈴木 権平氏	
6	六一	中尾 大輔	石原産業名古屋支店
6	六三	山本 利夫	KK帝神崎製造所(尼崎 市久知字ソウダ二二)
6	六四	今西 春也	三重県尾鷲商業学校
6	六四	上野 仰	大阪堺頭KK尼崎製罐工場 (尼崎市道意町七ノ一八)
6	六五	大谷 勝彦	中央産業貿易KK広島支店
6	六五	加島 良一	朝日新聞大阪本社(資材部) 第一銀行尼崎支店(尼崎市 西御園町二三)
6	六七	坂本 干明	
6	六七	柴田 忠五郎	(富) 質店
6	六八	高橋 敏夫	
6	六九	中田 富雄(光雄)	
7	七一	橋本 薫	
6	七一	箱島 弘	スタンダードバッキューム オイルKK福岡支店
6	七二	松本 壽一	福岡市馬出本町
6	七三	村上 喜久次	神戸銀行芦屋山手支店
6	七三	大森(森) 侃二	
7	七七	伊東 薫	新日鐵肥料KK水俣工場 総務部計理課 兵庫県経済農業協同組合連 合会 監理課長
7	七八	秋元 淑男	
7	七八	大林 晴雄	
7	八〇	木村 榮一郎	
7	八〇	小谷 一男	宮崎県延岡市柳沢町五一 宮崎市下京区西中筋花屋町 下ル堺町九六
7	八四	長澤 作次	尼崎市西本町七丁目二六四
7	八四	永末 優	日鉄鉄業KK 二瀬鉄業所 営業部
7	八五	早川 由次	佐賀電気工事工業KK
7	八五	笠正 敏雄	大坂市東成区東今里一ノ八 一三
7	八五	日南 爲雄	高松市木田郡田中村田中四 〇三三
7	八六	藤田 吉大	神戸市垂水区東垂水中道通 二ノ二三
7	八七	松原 範幸	高松市九番丁一五
8	九五	伊藤 勝	大坂市東住吉区平野浜町三 丁目二〇番地
8	九五	糸瀬 久光	小倉市田町三四〇
8	九五	井上 章美	安野紡織KK(東区南久宝 寺町)

8	九六	岡田 清	日本通運KK新見支店 庶務課長
8	九六	神足 三男	昭十九、十二、八戦死於比 島レイテ島
8	九六	川池 功	大德太糸紡績KK
8	九九	酒井 宏	
8	九九	島田 孝	
8	一〇〇	田中高 治	
8	一〇〇	寺尾 誠介	三津浜興業内
8	一〇四	宮武 忠智	
8	一〇五	村山 良久	
8	一〇五	矢野 保郎	東海銀行大阪支店(預金課 長代理) (東区北浜三丁目二二)
8	一〇五	足立 武男	
8	一〇九	生田 滋夫	
8	一〇九	池内 禎三	
8	一〇九	板谷 昂造	大阪教育図書KK東京支店 (東京都神田小川町三丁目 二四)
8	一〇	佐野(今井) 義光	
8	一〇	岩井 敬二	
8	一〇	岩井 正英	
8	一〇	川上 俊爾	
8	一〇	河村市之助	
9	二二	倉内 榮造	大坂市旭区赤川町一丁目一 二五七 岡山県阿哲郡上市町緑町六 丁目
9	二二	近藤 博	住友化学工業KK 中国鉄道KK 会計課
9	二二	澁野 榮一	大坂市旭区橋寺町 府営住 宅二〇一 大坂市住吉区西住之江町二 丁目二六
9	二二	武川 茂夫	彦根市金龜町二七
9	二二	鳥山 吉信	金沢市長田本町二ノ二九
9	二二	中村 一夫	東京都太田区東蒲田二ノ十 七 三津浜興業内
9	二二	二宗 宏治	大坂市此花区曙ヶ崎町一
9	二二	平原 篤行	金沢市小立野新町四〇ノ三
9	二二	堀江 秀二郎	高松市一番町二二二
9	二二	松田 二郎	大阪府中河内郡枚岡町出雲 井一四三
9	二二	安谷 英也	兵庫県川辺郡宝塚町亮布
9	二二	森 太良	八尾市木戸三三一
9	二二	山下 逸男	東京都文京区戸崎町三 (削除)
9	二二	植田 三雄	西宮市鳴尾町浜甲子園五ノ三
9	二二	梅本 健三	寝屋川市香里園一六一八
9	二二	岡田 由幸	兵庫県川辺郡川西町花屋敷 荘園
9	二二	尾上 二郎	
9	二二	倉内 榮造	大坂市東成区東今里一ノ八 一三
9	二二	近藤 博	高松市木田郡田中村田中四 〇三三
9	二二	澁野 榮一	神戸市垂水区東垂水中道通 二ノ二三
9	二二	武川 茂夫	高松市九番丁一五
9	二二	鳥山 吉信	大坂市東住吉区平野浜町三 丁目二〇番地
9	二二	中村 一夫	小倉市田町三四〇
9	二二	二宗 宏治	
9	二二	平原 篤行	
9	二二	堀江 秀二郎	
9	二二	松田 二郎	
9	二二	安谷 英也	
9	二二	森 太良	
9	二二	山下 逸男	
9	二二	植田 三雄	
9	二二	梅本 健三	
9	二二	岡田 由幸	
9	二二	尾上 二郎	

10	大谷 治 稔	姫路市役所観光課	三協精機製作所大阪出張所
大谷 久	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
大矢 知 力	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
川 下 正 男	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
川 下 正 男	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
鴨 田 正 幸	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
北 之 坊 治 夫	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
高 橋 久 茂	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
竹 内 泰	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
桂 博 俊	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
田 中 義 雄	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
東 馬 秀 夫	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
中 島 孝 志	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
平 岩 正 男	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
松 尾 謙 三	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
笠 源 一 郎	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
山 崎 英 男	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
山 田 亥 久 治	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
横 田 治	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
森 良 治	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所
安 田 健 二	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所	三協精機製作所大阪出張所

12	小川 淳	竹中KK	大阪府八尾
郡 廣 之	竹中KK	竹中KK	竹中KK
齊 藤 満	竹中KK	竹中KK	竹中KK
佐々木 幸 一	竹中KK	竹中KK	竹中KK
佐 藤 輝 雄	竹中KK	竹中KK	竹中KK
下 村 宏	竹中KK	竹中KK	竹中KK
清 水 弘 章	竹中KK	竹中KK	竹中KK
玉 岡 浩	竹中KK	竹中KK	竹中KK
竹 本 滋 郎	竹中KK	竹中KK	竹中KK
鳥 居 光	竹中KK	竹中KK	竹中KK
中 田 俊 彦	竹中KK	竹中KK	竹中KK
長 谷 川 照 成	竹中KK	竹中KK	竹中KK
堀 内 義 之	竹中KK	竹中KK	竹中KK
村 上 一 夫	竹中KK	竹中KK	竹中KK
吉 田 升 二	竹中KK	竹中KK	竹中KK
米 田 (北山) 文 子	竹中KK	竹中KK	竹中KK
小 山 和 子	竹中KK	竹中KK	竹中KK
井 川 (馬場) 次 子	竹中KK	竹中KK	竹中KK
野 島 (小松) 子	竹中KK	竹中KK	竹中KK
白 井 圭 子	竹中KK	竹中KK	竹中KK

16	野口 浩	倉敷市西阿知町
〃	森山 香	西宮市高杉町八六 時実方
〃	守屋 光太郎	豊中市野畑永楽荘 岡本泰
〃	山上 時保	大阪市此花区四貫島大通一ノ八
〃	渡邊 昭是	芦屋市打出大東町
〃	渡邊 典泰	岡山県笠岡市大字広浜
17	澁谷 尚	兵庫県美濃郡中吉川村山上
18	今井 慧	大阪市此花区四貫島宮居町一五
〃	陶山 益三	大阪市天王寺区上宮町七
〃	中井 辰昭	大同生命寮
〃	三井 辰昭	三井生命保険相互会社心齋橋通四丁目一六 (南区未吉)
〃	三井 禮三	旭広告KK、外交部第三課 (東区瓦町三丁目)
〃	水谷 和美	神戸市灘区篠原本町五ノ五
〃	吉田 功	大阪市東淀川区国次町六八
19	田淵 (稻田) 一一	六 吉田洋方
〃	藤本 (岡田) 和久	大阪市生野区東桃谷町三ノ三八二
〃	栗本 邦人	大阪市生野区猪飼野中五ノ二 (天王寺八四四八)
〃	酒井 克己	大阪市東淀川区南大道町二ノ一七八 沢田方
〃	坂下 富重	
〃	十河 敏彦	

宝座
三井生命保険相互会社心齋橋通四丁目一六 (南区未吉)
旭広告KK、外交部第三課 (東区瓦町三丁目)
桐蔭高校講師、修徳高校教諭

〃	土居 忠章	高知県吾川郡仁西村仁ノ一七八七
〃	中里 幸一	村田公認会計士事務所 (東区安土町一丁目一六)
〃	平野 昭男	大同生命相互保険会社
〃	藤井 明	堺商事KK (東区瓦町二丁目五五三和ビル内)
〃	藤井 定義	明石商業高校
〃	松岡 辰良	西宮市鳴尾町宮本六〇ノ五
〃	森村 利夫	守口市門真町一番町 松下電器産業KK松風寮
〃	吉岡 壽	大阪市東淀川区小松南通一ノ二五 園田方
〃	山本 昇	尼崎市浜田崇徳院二五六 尼鉄寮
〃		大阪市東住吉区田辺本町七ノ三四

お 願 ひ
同窓會名簿代金未拂の方は同封振替用紙を御利用の上何卒大至急御拂込下さいませ
お願い申し上げます。

第二十回卒業生

姓 名 就 職 先

浅 越 博	大阪商事KK (名古屋市中区南伊勢町一ノ七)
東 孝 義	大阪府中河内郡 (加美村府立中学校)
水 島 (安藤) 治	大阪住友倉庫
安 藝 隆	和歌山相互銀行本店 (和歌山市新道リ七丁目)
浅 見 清	石井会計事務所 (西宮市今住家町四二)
赤 松 彦	三興線材工業KK技術部検査課 (京都市右京区梅津西浦町一四)
天 田 禮 三	石井会計事務所 (西宮市今住家町四二)
足 立 博	石井会計事務所 (西宮市今住家町四二)
石 井 輝 威	三興線材工業KK技術部検査課 (京都市右京区梅津西浦町一四)
一 安 重 宏	石井会計事務所 (西宮市今住家町四二)
石 井 勇 毅 夫	三興線材工業KK技術部検査課 (京都市右京区梅津西浦町一四)
一 守 次 郎	石井会計事務所 (西宮市今住家町四二)
石 井 信 雄	三興線材工業KK技術部検査課 (京都市右京区梅津西浦町一四)
井 上 貞 夫	石井会計事務所 (西宮市今住家町四二)
石 井 延 次 夫	三興線材工業KK技術部検査課 (京都市右京区梅津西浦町一四)
入 谷 司 郎	石井会計事務所 (西宮市今住家町四二)
打 出 清	三興線材工業KK技術部検査課 (京都市右京区梅津西浦町一四)
小 川 端 夫	三興線材工業KK技術部検査課 (京都市右京区梅津西浦町一四)

東亜塗料KK (大阪市西淀川区千舟東二ノ一八)
関西学院大学大学院経済学部

住 所

奈良県磯城郡川西村唐院	八尾市久宝寺一三八
大阪市福島区玉川町二丁目七九	神戸市垂水区陸之一〇七三
大阪府具塚市海塚新町四四一 百野方	大阪府中河内郡松原町新堂八八八
大阪府生野区北生野町四ノ二七	大阪市東住吉区鷹合町二四四
西宮市建石町二三	京都市左京区田中野神町二〇
西宮市建石町二三	池田市東市場町六九
池田市東市場町六九	大阪府八尾市中野切下一ノ二九四
大阪府旭区生江町三丁目 みどり荘	大阪府住吉区北島町五
大阪府池田市国坂町二番地	神戸市垂水区西垂水町霞ヶ丘一五三〇ノ三九
西宮市鳴尾町小曾根字東甲子園五九	

越智通富
大平順二
岡田健二
川上耿平
川野群平
川上豐
金本政廣
北西久男
喜多久男
窪田信夫
古閑敬一郎
兒玉直則
小山多一郎
小林吾朗
小林郁夫
小林敏一
齊藤昭二
阪下昭
酒本千昭

富島商運KK大阪支店（大阪市西区江戸堀北通三ノ一七）
竹中株式会社（大阪市東区北久太郎町二ノ二八）

大阪日産自動車株式会社
日本生命保険相互会社（大阪市東区今橋四ノ七）

野村証券（東京都太田区田園調布一ノ二七野村証券KK田園調布明星寮内）
KK横山商店（大阪市東区豊石町三）

日本石油

三協精機製作所KK經理課内（長野県諏訪市清水町）

ウキルキンソントンサン欽泉KK（西宮市塩瀬町生瀬二二六）

大阪市東住吉区駒川町六ノ八

大阪市西成区旭南通一丁目一番地 中田方

大阪府吹田市浜田町二八一七

神戸市真谷区旭通三丁目二十六番地 塩貝方

大阪市都島区都島中通六丁目一五一（清都荘内）

大阪市東住吉区杭全町八九一

大阪市生野区北生野町一丁目十二番地

兵庫県三原郡田村

和歌山市宇須一四二

大阪市福島区上福島南二丁目一九〇ノ二

大阪府豊能郡箕面町瀬川九〇二

広島県三原市須波町

名古屋市中区和区吹上町一ノ六九 日本石油鶴舞寮

大阪市旭区北清水町九三六

高知県長岡郡西豊永村寺内六五三

神戸市長田区駒ヶ林町四ノ一六九

西宮市名次町三四

西宮市六湛寺町六

和歌山県海草郡下津町下津二一七

自営

四国銀行（高知市南播磨屋町七）

京阪神急行電鉄KK宝塚経営部劇場課

淀川製鋼KK労務課人事係（大阪市西淀川区百島町五）

同志社大学大学院経済学研究科 理論経済学専攻

竹中工務店 甲子園

保安官

大日本セロフアンKK（高槻市芥川六〇六）

関西砂糖元受KK（大阪市南区安堂寺橋通り三ノ一五）

久保田鉄工所営業部（大阪市浪速区船出町二丁目二二）

大阪第一信用金庫預金係（大阪市南区北桃谷町）

日本シャフトKK検査係（尼崎市難波本町一丁目）

滋賀県神崎郡八日市町大字浜野二八

大阪市東淀川区小松南通三丁目二九 大島農夫也方

（兵庫縣赤穂市坂越二一七四）

堺市吾妻橋通四丁目 高野利民方

高知市本町四三ノ三

尼崎市上坂部南ノ口八二八

高槻市芥川札場町一七一 吉田繁子方

大阪市北区岩井町一ノ三四

石川県小松市三日市町二二

大阪市西淀川区佃町三丁目三八KK淀川製鋼所第一淀志寮

大阪市大正区泉尾竹の町一ノ五〇

兵庫県西宮市甲子園五番町 竹友寮内

福岡県久留米市高良内町前川原
自衛隊幹部候補生学校第二学生隊四区隊（十二月二十四日まで）

西宮市上大市三丁目十四 岡本方

兵庫県養父郡建座村長野一三六四

岸和田市南上町一一二五

大阪府南河内郡狭山町東野一〇三一二 林部方

豊中市熊野田三一九一

大阪市西区南堀江下通一丁目三五ノ二

尼崎市三反田一四三

大阪市東淀川区小松中通り二丁目七番地 竹内信一郎方

出井清治
利岡啓史
中島正明
中尾忠治
中村敏郎
苗代勇
西村博之
西仲章治
西山忠
沼田壯一
野村敬一
花宮兩一
萩谷文次郎
長谷圭剛
林芳彦
廣瀬毅
平井廣勇
平松明子
平尾明和
船江泰明

西淀機工株式会社自動車部(西淀川区千舟東二丁目一六)
四国銀行北街支店(高知市蓮池町)
朝日放送KK
山一証券KK(大阪市東区今橋三丁目一)
大和銀行KK(大阪市東区備後町一)
共栄鋼材KK
大分県津久見市中央通一丁目 マルハナ号商店
神戸市生田区相生町二丁目 近畿相互銀行神戸支店
東区今橋二ノ一 大和証券KK
兵庫県加古川市加古川町平野 播川食糧KK

奈良県北葛城郡馬見町新田
高知県長岡郡三和村片山一四一二
兵庫縣三木市福井一二二五
和歌山県海草郡東野上町動木一一九
神戸市須磨区川上町二ノ一
大阪府三島郡豊川村新家四四五
大阪府八尾市佐堂三六
大阪府中河内郡高安村榮音寺五五九
尼崎市東富松押櫃二一五番地
大阪市東淀川区宮原町三〇四番地
大阪市東淀川区木川西之町二丁目六八
大分県津久見市中央通り
山口県大津郡通村
大阪府天王寺区真法淀町一〇〇番地
大阪府北区曾根崎上二丁目一六
兵庫縣佐用郡大庄村末広
大阪市東淀川区塚本町一ノ七三
大阪府北区中崎町二六
神戸市長田区明泉寺町二丁目六五
兵庫縣印南郡阿彌陀村阿彌陀一〇六五

藤田哲
福井昭
風呂谷洋治
福本正治
藤澤弘
藤林潤一
藤田和弘
堀本昇
松本榮次
前田行信
松本賢治
牧野陽一郎
松井清
増田昭三
三宅護
南廣高
宮原暎長
宮澤幸男
宮崎勝行
光谷修一

井上製作所(大阪市東淀川区三津屋南通)
二条駅(京都市中京区西ノ京)
大阪不動銀行(大阪市西区江戸堀下通一ノ五三)
日本急送株式会社(大阪市東区京橋二ノ一五)
大阪市立桜宮中学(大阪市都島区東野田八丁目)
東亜ボーリングKK(西区阿波堀通一ノ三十宝ビル内)
KK日阪製作所(東淀川区野中南通三ノ一二)
KK大阪不動銀行(西区江戸堀下通一ノ五三)
大阪東運送KK(東区安土町一ノ五)
大阪アキッ小型自動車KK
関学大学院(西宮市上ヶ原)
大阪第一食糧事業協同組合(西区阿波座下通二ノ六ノ一)
阪本調帯護謄KK(神戸市兵庫区明和通)
精密機械仕上KK柏原機械製作所(大阪府中河内郡柏原町市村四〇)

大阪市東淀川区三津屋南通り二ノ二八 井上製作所寮
京都市下京区八条観喜寺町 梅小路寮
和歌山県那賀郡麻生津村字赤沼田
大阪市東淀川区相川南通り二丁目三番地
大阪府中河内郡矢田村住道五五九
大阪市東住吉区鷹合町五七
兵庫縣芦屋市三栄町一九五 坪田彦方
大阪市福島区今開町二丁目五一
大阪市住吉区帝塚山東四丁目三九 中山清土方
兵庫縣加古郡天満村岡一六三〇
大阪府東住吉区山坂町一丁目四番地
大阪府守口市早苗町四七番地
芦屋市宮塚町七三番地
兵庫縣加古川市加古川町篠原二丁目一三
大阪市西区阿波座下通二ノ六ノ一
西宮市北口町一九五 野田方
和歌山県海南市黒江四一三
神戸市長田区檜川町一ノ二一
尼崎市昭和南通り七丁目一八五

内山幸三	富阪源次郎	渡辺皎	和氣淳	兩部和夫	良本正宏	吉田叡	吉村忠一	與田昭彦	吉岡淳光	横田健司	山上日出男	山裾壽文	山村恭造	屋田実良	山田照乞	守田照人	森口繁己	村瀬龍一	村上雄弘	宗村雄司	村上立男
------	-------	-----	-----	------	------	-----	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

大同生命保険相互会社横浜支社内（横浜市中区東町二ノ一五）

KK藤井商店

自営（東住吉区田辺西之町五ノ一四三）

防府信用金庫本店（山口県防府市国府通）

日本ダンロップ護謨KK（神戸市葦合区筒井町）

大阪地方裁判所（北区若松町八）

井上製作所（東淀川区三津屋南通二ノ二八）

岡三証券KK（東区北浜三ノ三七）

大阪化学繊維取引所（東区南本二ノ三七ノ一）

吉田米KK（東区谷町三ノ四）

自営建設業（岡山県玉野市淡川五五〇）

KK桜商会（東成区中道元町一ノ一）

池田銀行（池田市城南町四九九）

山陽新聞社（岡山市下石井三九七）

帝国車輛

ライオン齒磨KK販売課（大阪市東区博労町三ノ一三）

日本電工株式会社経理課（大阪市北区曾根崎上一丁目三〇）

伊丹市桜木町五六七ノ二

兵庫県西脇市和田町

大阪市東住吉区田辺西ノ町五ノ一四三

山口県防府市三田尻堀口

大阪市東住吉区平野流町三九一

大阪市東淀川区国次町桜荘内

大阪市都島区都島中通り五ノ二三

和歌山市坂田六四六

神戸市須磨区若宮町三丁目三三

大阪府吹田市垂水町一二七浜俊夫方

奈良県磯城郡多村養之社五三八

岡山県玉野市淡川五五〇

大阪市南区瓦屋町四番丁一一

京都市右京区西京極下沢町一二

大阪府豊能郡箕面町百楽荘四丁目

岡山県御津郡御津町金川 森方

大阪市北区堂島中通り二丁目二二

神戸市灘区琵琶町一丁目二四

兵庫県宝塚市中州三三六ノ一六

大阪市此花区高見町三丁目四

編輯後記

◎先づ表紙について……。

一、二、三、号まで「會報」として出したこの冊子四号から「澱江」として発行してゐます。

「澱江」は黒正學長の作られた校歌の中の淀川を意味する文句です。それを採つて本冊子も四、五号に引続き「澱江」の才六号として発行致しました。

表紙は澱江の流れを昭和のSに型どり、その流れを掬む經大と云ふアイディアで左上部になつかしい時計台を書きました。世良總務部長、宇野編輯部長の苦心の作です。

◎今更謹賀新年でもない各位から猛烈にやられ赤面冷汗の至り。五号から二年半ぶりの發刊故御期待に添ふ様努力して年内版組完了、新年早々印刷製本、諸兄弟のお手許に一月十五日頃お届けする豫定のところ、御多聞に漏れず年末公用できり／＼舞ひ、新年早々約十日出張、歸阪して

風邪ひきでゴホン／＼の連続で約一週間會社を休むと云ふ言譯にならな
いが惡條件が重なりこんな有様。
お許し下さい。次号こそは諸兄弟に
喜んで頂ける物を發行致します。
◎次号「澱江」第七号發行予定は七月
です。何卒本文「編輯部より」の
宇野編輯部長の言にもあります通り
是非原稿をお送り下さい願します。
(眞澄)

澱江第六號

昭和三十年二月十日編輯
昭和三十年二月十五日印刷發行

非賣品

發行所 大阪市東淀川区大隅通り
大阪經濟大學同窓會
印刷所 三歐印刷所
責任者 宇野善四郎

十三回年刊 附刊 附子 寄贈